



みどりの里だより

第1号

発行：2018年3月



施設長あいさつ

北海道済生会西小樽病院は、国立療養所小樽病院が国立療養所の再編・統合に伴って他の国立療養所病院への統合が検討されましたが、併設の重症心身障害児（者）を受け入れる施設が無かったために、公的医療機関でかつ移譲実績がある北海道済生会が選ばれて平成14年に開設された病院です。療養病床100床と重症心身障害児（者）病床120床を有する慢性期病院です。病院運営上の理由から平成29年から療養病床を休床として現在は120床の重症心身障害児（者）病棟「みどりの里」のみの利用としています。

みどりの里は小樽市の郊外赤岩岳の山麓に位置し小樽港を眼下にした絵画的風景のなかで、主に後志地区および道央地区出身の方々が入所されています。障害児の教育面として余市養護学校の訪問教育学級があり20数名の生徒さんが在学しています。また、昭和46年に国立療養所小樽病院に併設されましたことから入所者の最高年齢は80歳を超えています。平成25年に施行された障害者総合支援法のもと、医療型障害児入所施設として最重症の障害に対する医療的ケア、療養介護事業所として臨床心理士による判定も考慮し最適なる療育、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による機能訓練を提供しています。

現在、建物の老朽化、狭隘化により新築移転計画が進められています。平成25年に小樽市築港地区に新築移転された北海道済生会小樽病院の東側敷地に2年後夏には竣工・開院予定です。

これからも利用者の方々のご要望に応えられるよう職員一同取り組んでまいります。

施設長 工藤 亨



みどりの里の理念

「済生」とは、“生命を救う”という意味が込められています。

私たちは、一人ひとりの“いのちの輝き”をみつめ、

地域にしっかりと根付いた医療福祉活動を進めてゆきたいと考えています。

みどりの里って どんなところ？



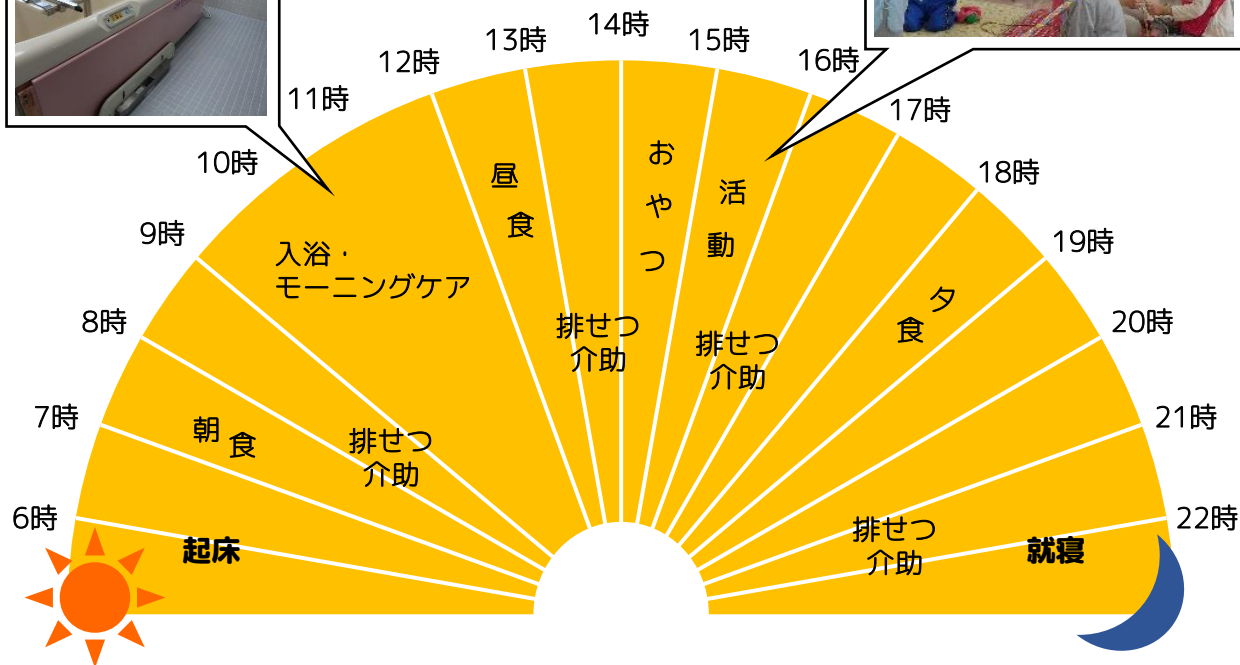
当施設では「重症心身障害」のある方々が生活しています。重症心身障害とは、重度の肢体不自由と重度の知的障害を併せ持つ状態をいいます。

言葉で表すことの難しい方々の思いを五感で感じとり、日常生活の援助や療育活動を行っています。「呼吸」「排せつ」「摂食」「清潔」「体位」などの生命維持や生活に必要な基本的知識・技術に重点を置き、「命の尊厳と人権の尊重」という理念に基づいた看護療育ケアを提供しています。四季折々のたくさんの行事を通じて、利用者の方々と一緒に過ごす時間は、懸命に生きる命の大切さを実感できる貴重な瞬間になっています。

看護療育部長 石井 絢子



1日の流れ



お食事

ミキサー・きざみ・荒キザミ・固形・特別食と、利用者の方に合わせた食形態で提供しています。管理栄養士が行事のテーマごとに旬の食材を使った料理を考え季節を感じられるよう工夫しています。



活 動 紹 介



レクリエーション活動（バスレク）

年1回、バイキングや公園、ショッピングセンター、水族館等々、利用者さんが興味のあるところへ行きます。

日々の療育活動

動きのあるゲームや静かに過ごすスヌーズレンなど、ひとりひとりに合わせた活動を行います。



ホスピタル・クラウン

各病棟年1回、一人ひとりにバルーンアートで様々なものを作ってくれたり、クラウンさんが遊びに来てくれます。



セラピードッグ

月1回、数頭のボランティアドッグが遊びに来てくれます。犬に触れて癒されます。



みどりの里の1年

春



- ❁ 春のお楽しみ会
- ❁ レクリエーション活動開始

「春のお楽しみ会」では、バイキング形式の昼食でバラエティに富んだメニューをご用意しています。今回のテーマは「和食～日本が誇る世界遺産～」と題し、全10品目がありました。午後は各病棟でそれぞれ企画された催し物があり、利用者さん、ご家族、職員が一体となって楽しい時間を過ごしました。

夏



- ❁ リハビリテーション大運動会
- ❁ 季節行事《七夕》
- ❁ 第13回なでしこ祭

みどりの里最大のイベント「なでしこ祭」、第13回となる今年度もたくさんのステージに盛り上げていただきました！

PRグッズとしては2年ぶりとなる“Tシャツ”を作成しました。テーマカラーを「みどり」に決め、デザインは利用者さん12名の合作でした。

ご家族や地域の方々も多数ご参加くださり、にぎやかなお祭りになりました！



秋



- ❖ 新成人を祝う会
- ❖ 劇団みどり公演「ピノキオ」
- ❖ 秋のお楽しみ会
- ❖ 施設内レクリエーション
- ❖ 機能訓練室行事《ハロウィン》
- ❖ 季節行事《秋祭り》

「新成人を祝う会」は、今年度20歳を迎える2人が主役です。スーツに身を包まれ、緊張しているような喜んでいるような、いろいろな表情を見せてくれました。小さいときから成人までのあゆみのDVDは、「かわいい！」という声や楽しんでいる声があり、感動の涙を流す方もいらっしゃいました。



冬



- ❖ 季節行事《クリスマス会》
- ❖ 機能訓練室行事《年忘れゲーム大会》
- ❖ 機能訓練室行事
《リハビリ神社・お餅つき》
- ❖ 松前神楽鑑賞会
- ❖ 季節行事《せつぶん》
- ❖ 季節行事《ひなまつり》
- ❖ 劇団みどり公演「スターウォーズ」

「クリスマス会」は各病棟で趣向を凝らしたイベントが行われました。楽器演奏や手品、職員のダンス、ご家族の合唱など、盛りだくさんの内容でした！サンタだけでなく、いろいろなキャラクター（？）も登場して盛り上げていました。



リハビリテーション

機能訓練課には、理学療法士（PT）6名、作業療法士（OT）4名、言語聴覚士（ST）3名が所属しています。ひとりひとりに合わせて様々な方向から機能の改善や能力の向上を目指し、スタッフ間で協力しながら取り組んでいます。

理学療法



理学療法士は各病棟に2名ずつ配置しています。入所者様118名全員が理学療法対象者で週1～2回の頻度で介入をしています。また、外来リハビリは約30名ほどが対象になっています。

入所者様の理学療法は運動発達の促進、抗重力的な運動療法、関節可動域運動、ストレッチ、呼吸理学療法の他、ポジショニング方法の検討や補装具に関連する業務を行っています。また、Goldsmith指数、側弯の間接的評価、車椅子乗車姿勢、臥位姿勢の写真撮影を定期的に計測しており、経年的な身体状況の評価を継続しています。

作業療法

作業療法では、食事や身辺動作、学習、遊び、休息などの日常のあらゆる活動に対して、身体機能や感覚、認知的な機能への直接的な支援に加え、環境の設定や自助具の作製などを通して総合的に支援しています。

ブランコやトランポリンなどの粗大運動や自助具を使っでの食事、スイッチを用いた余暇活動、他者との交流を意識したグループ活動、スヌーズレンなどの感覚遊びなど、様々な活動を行っています。障害を持つ方が、生活のすべてを生き生きと自分らしく過ごしてもらうために、その人それぞれに適した活動を支援しています。



言語聴覚療法



言語聴覚療法の内容は大きく2つ、「コミュニケーション」と「食事」です。入所されている方で、言葉を使ってコミュニケーションを取れる方は数名ですが、身振り、手振り、表情や視線、また、僅かな身体の動きで気持ちを表現してくださっています。様々な発信をしっかりと受け止め、相手にわかりやすい方法で返信することを大切にし、伝え合うことの楽しさを提供しています。また、「食事」に関しては、安全に楽しく食事をすることを目標に、食形態の選定、食事姿勢、介助方法などを多職種と相談して支援しています。食事は、栄養はもちろん、人間的な生活場のひとつとして色々な可能性が広がる大切な行為です。おいしい、楽しい、うれしいを共感できるような支援を目指しています。

合同療育

病棟の保育士が中心となり、全病棟を対象にした「合同療育」を毎月1回実施しています。今年度は「ボーリング大会」「車椅子ダンス」

「製作活動」を行いました！ボーリングでは、目の前にあるボールを転がそうと一生懸命に手を動かす人、倒れたピンを見て手を叩いて喜ぶ人、職員の応援に応じて顔を向ける人など…さまざまな姿を見せてくれました。今後も、ひとりひとりの持つ力を大切に活動を進めていきます！



父母の会 イベント助成金

平成30年2月に、父母の会助成金イベントとしてアンサンブルグループPALLET（パレット）の演奏会が行われました。本来女性5人によるグループですが、今回は3人ないしは4人のメンバーによる演奏となりました。1病棟は2月6日、2病棟は2月9日、3病棟は2月15日に行われました。演奏された曲目は、「さんぽ」「いい湯だな」「レットイットビー」「恋するフォーチュンクッキー」など、幅広いジャンルのものでした。

利用者さんたちは、音楽に合わせて体を動かしたり、声を出している人、じっと見つめている人など反応は様々ですが、皆さん楽しまれていました。30分ほどの時間でしたが、父母の方々、スタッフ含め、楽しい時間を過ごすことが出来ました。



「重症心身障害児(者)施設みどりの里」の移転計画について ～済生会小樽病院に統合・併設型の福祉施設として新築移転します～

済生会支部北海道済生会では、みどりの里の新築移転計画を以下のとおり進めていくことになりましたので、お知らせします。

みどりの里は、済生会西小樽病院みどりの里として高齢者医療（療養病床100床全休床中）に併設し、120床の重症心身障害児(者)の入所施設として運営してきましたが、約45年を経過した施設は、躯幹や基幹設備の老朽化が進み、安全かつ良質なサービスを提供するために必要な療育環境を維持することが困難となってきました。

新築移転計画では、近代的な療育環境に加え、地域共生社会という時代を見据え他に類を見ない総合的な福祉施設を目指しています。

計画概要

計画地	小樽市築港114番1 (済生会小樽病院職員駐車場)
敷地面積	19,147.41㎡ (済生会小樽病院含む)
建築延床面積	8,200㎡程度
建物構造	鉄筋コンクリート
施設内事業の内容	医療型障害児入所施設 障害福祉サービス（療養介護） 障害福祉サービス（短期入所） 地域包括支援センター 健診センター 居宅介護支援事業などの 在宅介護支援事業
スケジュール	平成29年 11月 基本設計開始 平成30年 7月 実施設計開始 平成31年 5月 建設工事着工 平成32年 8月 オープン

事務部長 櫛引 久丸

平成29年度院内研修実績

日付	内容	日付	内容
7/26 8/10	接遇向上研修	9/26 10/3	スキンケアの基本と皮膚損傷・感染防止ケア
8/31 9/19	障害者虐待防止法の理解と虐待事案	8/29	抗てんかん薬の使用上の注意
7/19	特別発表・報告会「世界の障害児・者支援における取り組みについて」	11/14 11/24	防犯対策、施設整備について

※上記以外に各部署での研修も行われています。

ご協力ありがとうございます

ボランティア

○蘭島婦人学級様

行事・イベント等

- 北海道ボランティアドッグ協会様
- 日本ホスピタル・クラウン協会様
- 株式会社セコマ様
- 小樽紙匠堂様
- 和太鼓おたる打々っ子様
- 松前神楽小樽保存会様
- ノースサファリどこでも移動動物園様
- ジャグリングミスターきくち様
- 浅草橋オールディーズナイト様
- PALLET様



平成30年度行事予定

日付	内容	日付	内容
5/15 (火)	春のお楽しみ会	12/11~13	クリスマス会
6/28 (木)	新成人を祝う会	1/23 (水)	松前神楽観賞会
8/3~8	七夕	2/1 (金)	節分
8/4 (土)	なでしこ祭	2月中旬~ 3月上旬	利用者作品展
10/2 (火)	秋のお楽しみ会		
11/1~2	秋祭り	3/1 (金)	ひなまつり

※日程は変更になる場合があります。

発行

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部

北海道済生会西小樽病院みどりの里

〒047-0036 北海道小樽市長橋3丁目24番1号

TEL : 0134-32-5131 FAX : 0134-29-2164